



# 優秀賞 (居室部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

ちょっといづく

タイプ

持家一戸建

講評

玄関脇につくられた、屋内諸室との接点となる中間的な「間」である。それ故、内部でありながら、大きな丸窓を通して、外とのつながりを積極的に持たせようとした意図が、みごとに結実した。ありきたりの部屋だったのが一変した。



## 春



## 冬

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

来客が多く、ちょっと話したい、でも家に上がりこむほどの時間もないなど、とにかくお客が多いとのこと。そこで気軽に上がってお喋りができる場所を創ってほしいと、ご依頼を頂きました。

《問題解決方法》

- ①居間へ行くまでが遠いので別に団樂部屋が必要。
- ②玄関横の8畳間はあまり使われていない。
- ③気軽に上がれる＝靴のまま上がれるが、テーマ。

玄関横の8畳間を、土足のまま上がっていただける空間に、奥様の一言『囲炉裏があったらいい…。』そこでオリジナル囲炉

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	岐阜県高山市	構造／築後年数	在来木造／140年
該当工事面積	13.25 m <sup>2</sup> ／総工事床面積 13.25 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	305 万円／総工事費 305 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 4 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ベッド：		
設計者	レオイ(株)	担当者	大下 竜一
施工者	同上	担当者	立原 満

裏テーブルをご提案。冬も炭火を囲んであったか団樂。大きな丸窓から見える庭の景色は最高で、この部屋から見るのが一番良い場所です。この大きな丸窓が四季の変化を絵画のように見せてくれます。

来客の時やちょっといづくをするひと時が楽しみな空間ができました。

リフォーム前

リフォーム後

